



令和4年11月10日
座間市立東中学校

図書館だより

文化祭、体育祭が終わり 秋も深まってきましたね。さて、今月はまず読書感想画中央コンクールのお知らせです。次の楽しい本を読んで、文章ではなく絵であなたの感想を表現してみませんか。以下の本、5冊です。



①



②



③



④



⑤

- ① 『はなの街オペラ』 坂本ヒメミ著 時は大正時代。歌の大好きな14歳のはなが奉先先の東京でひょんなことから浅草のオペラ歌手になります。オペラって楽しいですね。
- ② 『さばの缶づめ、宇宙へいく』 小坂康之・林公代著 地域名産「よっぱらいサバ」の缶づめが12年の困難を乗り越え宇宙へ旅立った。ノンフィクションです。
- ③ 『蛍と月の真ん中で』 河邊徹著 ある出来事により大学休学を決めた匠梅。亡き父が蛍を撮影した長野県に行き、彼を変えていきます。
- ④ 『ぼくたちのスープ運動』 ベン・デイヴィス著 退院したばかりのジョーダンには、ホームレスの人に、母の作ったスープをあげたことで思わぬ出会いをします。
- ⑤ 『火星は…』 スザンヌ・スレード文 地球のとなりにある神秘の星「火星」。探査ロケットから送られてきた写真が現在の火星を見せてくれます。

コンクールの締切は12月20日まで、国語科の高橋大河先生まで提出をしてくださいね。



次に左の本は、社会科の瀬戸先生のおすすめの本です。

『ヨーロッパ史入門—原形から近代への胎動』

『ヨーロッパ史入門-市民革命から現代へ』

池上俊一著（岩波ジュニア新書）

皆さんは**新書**を知っていますか？「新しい本」という意

味ではなく「**新書判**」というサイズの本のことをいいます。

そのなかでも、**岩波ジュニア新書**というシリーズは小中学生にも読めるような文章になっています。小中学生向けと言っても舐めてはいけません。著者は第一線で活躍する研究者だったり、大人が読んで面白い内容だったりということで多くの人から評価されています。

今回はその中でも、ヨーロッパの歴史についての本です。ヨーロッパの歴史を知るとは世界の歴史を考えるきっかけになるだけでなく、日本の歴史を別の視点で捉えるため、深く理解することに繋がります。ぜひ読んでみてください。

